

令和7年度 学校評価表

宮崎県立宮崎農業高等学校

【自己評価】 A：目標を十分達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標達成できなかった

【学校関係者評価】 A：大変良い B：ふつう C：努力が必要

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
学校全体	1 生徒一人一人の可能性を高める教育の推進	A	A	マイスター・ハイスクール事業を通して、幅広く生徒が活躍したと感じられる。働き方改革もデジタル採点の導入など前向きに取り組んでいることが評価できる。
	2 豊かな人間性を育み、個性を大切にした教育の推進	A		
	3 生徒や保護者、地域の期待に応える教育の推進	A		
	4 働き方改革と教育内容の充実を図る教育の推進	B		
	5 教育環境の充実と安全な学校教育の推進	A		
教務部	1 生徒の学習活動をサポートする学習指導の充実	B	A	学科横断や教科横断の授業を実践したことはとても良い取組である。生徒のタブレット活用も努力していることが窺える。
	2 授業等におけるICT機器の利活用	B		
	3 生徒の夢を実現するための教育課程編成	B		
教育相談・保健	1 個に応じた支援の充実	B	A	外部機関と連携して、生徒一人一人に寄り添う活動は評価される。
	2 生徒の健康の保持増進活動の推進	B		
生徒指導部	1 基本的生活習慣の確立	B	A	SNSモラルの研修等良く指導されている。また生徒会と支援学校との交流事業も良い。
	2 規範意識の高揚	B		
	3 生徒会活動や部活動の活性化	B		
進路指導部	1 生徒の多様なニーズに対応した進路実現	B	A	生徒の第一志望の合格（内定）率の高さからも、良く指導されていると評価できる。
	2 進路情報の共有化・データベース化	B		
	3 受検に必要な「突破力」の養成	B		

【自己評価】 A：目標を十分達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標達成できなかった

【学校関係者評価】 A：大変良い B：ふつう C：努力が必要

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
農務部	1 施設・設備を有効に活用した農業教育の実践	A	A	他学科連携や産業界等の地域との連携が、より充実してきていると思われる。 農業の専門分野の学びで体験したことが、生徒のこれからの将来に影響していくので、今後とも力を入れて欲しい。
	2 地域や関係機関との連携による人材育成	A		
生物工学科	1 主体的な行動と進路実現を図る生徒の育成	B		
	2 地域の期待に応える教育の推進	B		
	3 時代の変化や社会のニーズを踏まえた学科の特色化	A		
生産流通科	1 課題解決力の育成	B		
	2 特色ある学科づくり	A		
	3 生活習慣の確立と規範意識の醸成	B		
食品工学科	1 個に応じた丁寧な進路指導と進路実現	B		
	2 社会に通用する生徒の育成	B		
	3 生徒主体の授業実践と専門力の向上	B		
	4 コンプライアンスの遵守（公金取扱）	A		
環境工学科	1 農業土木技術者の育成	A		
	2 特色ある学科づくり	B		
生活文化科	1 専門的知識・技術を持った生徒の育成	B	A	様々な分野の外部講師招聘事業に取り組んでおり、生徒の育成に力をいれていることが窺える。
	2 課題解決能力のあるリーダーの育成	A		
	3 社会が求める実践力のある生徒の育成	B		